



希望記事

・リタイヤ後の海外生活を取り上げてほしい。

今号の12ページには、タイ国政府観光庁の記事広告として、民間企業を定年退職後、タイのチェンマイでロングステイをされている方をご紹介しています。そちらをぜひご参考ください。

・退職して農業を新たに始めた人の紹介。

本誌105号（2011年4月号）の「Useful」に埼玉県庁を定年退職後、農業を始めた方の記事を掲載しています。一度ご覧ください。

・今後、必要となる介護保険と老人ホーム等の施設等についての記事をお願いします。

介護保険については、今号のEconomy「公的保障の基礎知識V.O.」4として取り上げています。ぜひお読みください。老人ホーム等の施設については、今後掲載を検討したいと思います。

・国会で年金支給開始年齢見直しが議論されていますが、今後の動向について、もしそうなった場合のライフプランについてそれぞれ取り上げてもらえればと思います。

・年金受給年齢の引き上げ問題や定年の延長について。

・29年生まれです。年金の支給開始年齢をあげることで、定年制度の問題がクローズアップされて、心配しています。検討内容（見直し）や方向性について記事を希望します。

年金は定年退職後の生活を支える柱となるだけに、今後の動向は大いに気になるところです。今号の「Topics」では「地方公務員の再任用の現状

と65歳定年制への動き」ということで記事を掲載していますが、同様のテーマについては今後も継続的に取り上げていく予定です。

・合併に伴い、多方面から同じ職場で働き始めた私達。いろんな時、所での常識の違いが浮き彫りに：皆さんの心の持ち方が聞きたいです。

・最近の地方公務員のあり方について。奉仕の意味。今後の地方行政に求められるもの。

時代の流れとともに、地方自治体の在り方も、働く方の意識も変化しているのでしょうか。

・我が市で今年から資格取得者に対する手当の制度が作られました。まだ、実用には満たない制度ですが（合格時の受験料だけを補助するのみ）、段々と公務員にも実力重視のスタイルが浸透してきているように思います。そこで、全国の地方公共団体でこういった独自のシステムがあれば知りたいと思います。

読者の方からの情報提供、お待ちしております。

・マラソンで有名になった方のように、仕事以外のフィールドで輝いている現役の人たちの話が聞きたいです。

・公務員でいながら、職業以外の場所で活躍する方法。

今号のCareerでは、プライベートでライフプランのセミナー講師をされた東京都職員の方の記事をご紹介します。また、105号（2011年4月号）のHobby & Sportでは「空手道国際審判員」として活躍されている取手市職員の方の記事も掲載しています。併せてご覧ください。

・最近良く聞くようになった「児童相談所」の業務について、そこで働く人の話を聞いてみたいです。

一時、全国のタイガーマスク現象が話題になりましたが、児童相談所の業務、確かに気になりますね。今後の掲載を検討したいと思います。

- ・ポイントが上手にたまるカードの使い方や投資の仕方、公務員ならではの方法や公務員だからとれるリスクなどの特集があればいいと思います。
- ・株式投資について。

家計において、個人の自助努力・自己防衛が求められる時代。金融商品に関する知識も身につけておく必要があります。当誌では、来年度よりEconomyで金融商品に関する基礎知識講座の連載を予定していますので、ご期待ください。

その他ご意見

- ・「災害ボランティア」特集がとても良かったです。気持ちがあっても、どこかでできない理由を見つけて、行動できない状態でしたが、ボランティアに参加された方の記事により、背中を押していただいた気分です。震災から7ヶ月が経ちましたが、まだまだできることがあると思うので、ボランティアに挑戦したいと思いました。
- ・執筆者自らのボランティア体験で、説得力がありました。今後もし引き続き、同種の記事の掲載をお願いしたいと思います。
- ・災害ボランティアは新聞等、多々目にすると思いますが、内容が重なるように感じます。

被災地では息の長いボランティア活動が求められています。機会があれば、ぜひ参加されてはいかがでしょうか。

- ・「亭主が操る夫婦円満の秘訣」を読んで救われました。妻がほとんど謝らないのも、私の覚えていない昔の話を持ち出すのも、主語や状況がわからず思わず「だれが!? いっ!? 何処で!?!」と聞いてしまいうのも、これら理不尽なこと全てスタンダードなのですね。気持ち完全に入れ替え、穏やかな心で、仲良くやっつけていこうと思います。
- ・亭主関白という熟語の本来の意味も発想の転換ひとつでこのようになるのかと深く感心し、夫婦以外の様々な人間関係に置いても腹を立てる前に、もうひとつの角度からも考えるという姿勢を持ちたいと感じさせられました。

本記事が夫婦円満、よりよい人間関係づくりの一助となれば幸いです。

- ・「一流の田舎まちを直指して」素晴らしい市長をはじめ周りの人的環境にも恵まれている、浅川さん頑張ってください。一度訪れたい気持ちになる。

Personでご執筆いただいた北杜市職員・浅川裕介さんの記事。若手職員らしい発想と熱い思いで、一生懸命仕事に取り組む様子が伝わってきて、すがすがしい気分になりますね。

- ・「食べ方を見直して無理なくダイエット」は非常に興味を持って拝見しました。この頃食べる量はセーブしていたつもりでしたが、反して体重は重くなるばかり。この記事をみて食べ方に問題があったことがわかりました。食べ方に注意して無理なくダイエットに挑戦したいと思います。
- ・川村先生の記事は「目から鱗」でした。「ビールを冷やして飲むのは当たり前前」と思っていました。冷やすと「味がしない」のですね。

ダイエット成功のご報告、お待ちしております。

・Economyの「ライフステージで考えるライフプランニング講座 第3回」独身者、DINKSのライフプランではDINKSのライフプランにも触れられ、時代にマッチした内容だったと思います。

多様化するライフスタイルに合わせたライフプランに関する記事は、随時掲載していきたいと思っています。

・本年3月末で退職。ALPSでの情報等をもとに、退職数年前から妻と一緒にライフプランをたてて退職後の生活についてもいろいろと夢を持っていました。しかし現実には、ともに92歳の両親が田舎で健在（母は要介護2）。そのため退職後は計画を変更して、私だけ両親の面倒をみるため田舎に単身帰省中。月2回程度、週末に妻のもとに帰る生活が続いています。長寿社会となった今、ライフプランには退職後の生活にお互いの親のことも含めたプランを考えないわけにはいかないようです。

体験談は最高の教科書。貴重なお話を聴かせていただき、ありがとうございます。介護の問題はこれからより大きな課題となってくると思いますので、本誌でも定期的に取り上げていく予定です。

・アンケートは「良い。悪い。」ではなく、「参考になる」かならないか、という尺度のほうがよいのではないのでしょうか。

本誌では通信員制度を設け、毎号、通信員の方にアンケート調査を行っています。通信員の方には、各記事に対して「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をいただいています。この評価の仕方について、今年度はシステムの都合上、変更できませんが、来年度については一度検討してみたいと思います。

なお、来年度の通信員募集については、今号78ページに掲載しています。

ですので、通信員になってみたいという方はご覧ください。

・全国発刊なので、内容が充実した重い記事にしないといけないような考え方があると思いますが、敷居が低く軽い記事でも構わず筆者の想いが（できれば熱く）伝わる記事がいいと思います。想いが重くなって新たな趣味を見出せたらと思います。

硬軟織り交ぜながら、さまざまなテイストの記事を掲載していきたいと思っています。

・本誌の発行間隔が伸びたのが残念です。

本誌は今年度より年6回を年4回に減らして発行しております。発行回数は減りましたが、その分、濃い内容をお届けできるよう努めています。と思っています。

・毎回楽しく読ませていただいております。ここ1、2年「ALPS」のレベルがかなり高くなっている気がします。内容も充実しておりますし。今後も楽しみにしています！

励ましの言葉ありがとうございます。読者の皆さまのご期待に添えるよう、今後もよりよい誌面づくりに努めていく所存です。

